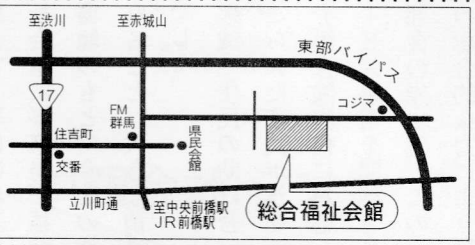
ささえあい

No.24

発行／前橋・在宅ケアネットワークの会
事務局 〒371-0017 前橋市日吉町2丁目17番地10(前橋市総合福祉会館内)
TEL／FAX 027-235-6283
受付時間帯 9：30～12：30
郵便振替口座 00150-2-155119



事務所が 市総合福祉会館3F 福祉団体合同事務室 に引越し。

十二月二十八日、会事務所の引越しが行われました。引っ越し先は日吉町2丁目で、元の市立女子高の跡地に建設された前橋市総合福祉会館の三階。立派な会館です。建物内部は広いホールが吹き抜けになっていて二階、三階は北側と南側に会議室や福祉の拠点となる部屋が並びます。三階には社協やボランティアセンターなどが入居し、その中の一室が福祉団体合同事務室で、市老連、母子会、ケアマネの会と本会の四団体が間仕切りを隔てて事務所を置きます。電話番号は従来と変わりません。ぜひ一度見学にきて下さい。

当日は総勢十二名が応援、2tトラックと軽トラ、ワゴン車三台で一気に搬送。終了後は年越し・引越し祝いのそばをいただいて解散しました。

ふれあいの広場

新春を寿ぎお慶びを申し上げます。

今年はひつじ年、元旦の雪は霜枯れの低木を綿帽子で飾り、あたかもひつじが庭先に現われたかと思わせてくれました。四日の朝も雪化粧、今冬は雪が多い模様、雪の多い年は昔から豊年といわれています。

瑞祥（ずいしょう）であります様に。

昨年は本当に波乱に富んだ年でした。特に北朝鮮の工作船の引き揚げ、拉致被害者の帰国等で、国内が揺れ動き、国の在り方や、日本人のとるべき道について、国中の話題となりました。国政でも真剣に検討されていますが、まだ明確な答が出ていないのは、危機管理の不備でしかありません。

これからの日本は、国のことを思ったり、郷土を愛したり、他人を思いやったりする等、個人重視をあらため、もっと公共への奉仕の心を持たなければいけない、と言われています。

ボランティア活動は、正に公共の為の事業です。いとしい郷土を良くするために、自分達の住んでいるまちを愛することができるように、胸を張ってお互いをささえあいながら、一生懸命努力しましょう。

（意志）

◆年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございます

理事長　斎藤　浩

明けましておめでとうございます。会員の皆様には初春を静かにお迎えのことと存じます。

昨年の本会は、三森ケアマネージャーが推進する居宅介護支援事業が一段と定着し、ついで事務局の飯嶌さんの企画による三級ヘルパーの養成講習会がみごとに成功。加えて、暮には新装なった市の総合福祉会館に事務局が移転入居し、新たな環境のもとで今後の活動の場が提供されるなど、大きな前進がはかられた年でした。

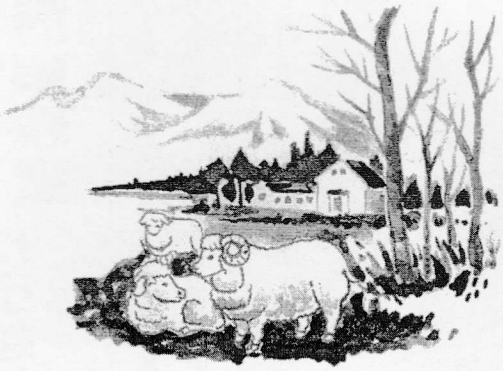
この歩みは、地域で住民の助け合いの活動を続けてこられた市民ボランティアの皆さん、介護保険時代に対応して新しく福祉サービス事業を開始された皆さん、医師部会の先生方、この三つの分野の会員の総合的な力により培われたものだと思います。本会のネットワーク効果が発揮された一年でした。

在宅ケアに関わる人々の交流と研修の場として発足した本会ですから、専従者を雇用するＮＰＯとなったことに、戸惑いや、果たしてやってゆけるのか、との心配が多かったこれまでしたが、昨年の歩みは、やれば出来る…という自信をもたせてくれたと思います。先頭にたって奮闘、ご尽力された事務局ボランティアの皆様、また各分野から支えて下さった多くの方々のご支援に厚く御礼申し上げます。

世の中は政治、経済ともに厳しさをましています。国も地方も産業も停滞し、日本は往年の元気、活力をまったく忘れてしまったようです。こういう時代だからこそ生活者の知恵と力が発揮されるＮＰＯの出番だといわれます。まる二年たった東地区の「古市いこいの家」の取り組み、上小出地区の「移送サービス」の開始など、住民に支えられた“手作りサービス”がしっかり継続しています。もとより採算は望めないこれらの事業にボランティアの方々が果敢に取り組む姿をみて、私は不意に涙を誘われることがあります。住んでいてよかったと思える町、住み続けたい町とはこうして作られるのだ、と教えられます。これらが確実な事業として実を結ぶためには、まだまだ今後試行錯誤も必要となりましょう。しかし、こうした努力と住民自身の挑戦こそがＮＰＯの課題であり本領なのだと思います。

会員各位のご理解とご協力をお願い致します。今年も頑張りましょう。

二〇〇三年　元旦



理事会報告

十二月十八日会事務所にて理事会が行われました。議題は

①次回総会での定款の改正案の検討。
②中間期決算と今年度の財政見通し。
③上小出地区の送迎事業について。
④若宮地区について
⑤事務所の移転・引越しなどでした。

定款改正案では会が障害者を支援できるよう文言を追加する案が出され了承。ついで九月期の決算と会計の見通しから給与の改善案が出され了承。上小出地区の送迎事業に対する補助は検討課題とし保険の加入費用を会として支援すること、また市に介護保険で適用するよう要望を出すことが話し合われました。

新春随想

拝啓　前橋市様

いつもお世話になっております。

介護保険制度がスタートして3年目を目前にして、自分たちの行うケアプランの作成が、介護保険を利用して下さっている沢山の方々の生きる力になっているのかどうか、不安な気持ちがいっぱいです。決していいかげんなケアプランを作っているわけではないのですが、本当にこれで良いのだろうかとの思いがいつも頭の中を過ぎります。デイサービスを利用したいと相談が入ると、『楽しかったよ』と笑顔がこぼれるサービスを提供してくれるところはどこにあるのか、老舗と言われるところは、本当に「さすが！」といわれるサービスを提供してくれるのか気になっています。沢山の情報が飛び交う中、何を基準に選択したらいいのかなど様々な情報提供をするケアマネとして、自分の情報量の少なさを反省し、どこに求めたらいいのと手を伸ばしたとき、【福祉マップ（？）】が出来るそうな、とのうわさを聞き、郵送されてきた情報提供用紙に思いを馳せ、いつ頃マップが出来るのかを待ちに待っているのですが・・・・・。

「お母さん、あの福祉マップはいつ出来るんでしょうね」と問いかけてはみるものの、お役所の机の上で眠っているようで、起こしてくれる人も、目覚し時計もない様子です。どなたか「おはよう！」と声をかけていただけないでしょうか。介護保険でお目見えしたインフォーマルサービスは介護保険では支えきれない『生きる力』になるのです。プランに悩んだとき、こんなことがあったらいいな、協力してくれる人はどこにいるのかな、心配事があるんだけどどこに駆け込んだらいいの、ひとつでも快く出前をしてくれるところはどこにあるのと言う情報が今ほしいのです。行政の皆様もお忙しいでしょうが、地方分権の要と言われる介護保険の選ばれるサービスとして何とか【福祉マップ（？）】を世に送り出していただけないでしょうか。

老いても安心して暮らせる前橋を共につくっていきませんか。

敬具

一月吉日

ケアマネジャー　山田圭子

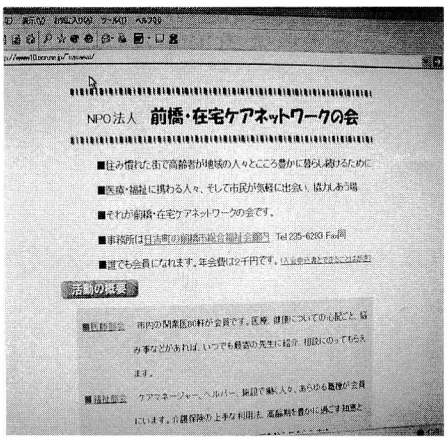
本会のホームページができました

平田賢治

本会のホームページができました。昨年末のことです。HPアドレスは、http://www10.ocn.ne.jp/~sasaeai まだ試作段階ですが、皆さんアクセスしてみて下さい。

内容は随時追加更新していく予定です。本会の紹介や市民・専門（介護・医療従事者など）の相談・解決情報等を公開することで「ささえあい」たいと考えています。

HP委員を募集中です。各部会や地区の担当をきめ、常に新しい情報が掲載され、会員が意見交換できるようなHPを目指します。ご協力下さい。



高齢者の通院

●移送ボランティア

上小出地区ではじまる

十二月五日午後、上小出地区「散歩の駅」で懸案だった『移送サービス』についての話し合いが行われました。上小出地区では十件をこえる移送サービスの経験と実績があります。地区内で通院や入院などの際、移動が困難な人の要望に応えるボランティアの体制ができていて、現在、協力を名乗り出て下さった人は十数名となっています。すでに協力者の出られる日の一覧表や、これまでの援助事例がきちんと報告書形式でまとめられています。

今後、より実践的に行ってゆくため、十一月運営委員会にて本会から荒木、須田、三森の三名が同地区を応援することになっていました。

この日、話し合うなかでいくつかの問題点がでてきました。

●市内で同様のサービスをしているところは、どんな状況か？

●車両は自家用車ではだめか？

●保険はどうなっているか？

●移送サービスを実施している仲間との連携

●ネットワークの会が市内全体をコーディネートしてほしい。

●上小出地区をモデルケースとして補助をしてもらえないか？

などが出され、今後調べ検討しネットワークの会理事会に提案することになりました。左に援助事例のひとつを紹介します。

（荒木）

緊急支援　上小出ささえあいネットワークの会　（報告者 ・・・・）

事例その10　実施日 '02. 10. 15（金）

時刻	援助の内容	備考
8:45	散歩の駅 集合	
8:50	社会福祉協議会のシルバー号借用	
9:15	利用者（■■■様）宅着（もう待っていた）	
9:50	上モ池尿器科まで出発 普段着 通院着（入院予約受付）…問診票記入など	〈忘れ物〉 ・治療計画書忘れ 出かけるとき忘れ出したら大丈夫だいわれたので、みせてもらうのをためらった。
	整形外科201室入室、OM看護師 入院用品取揃え、売店で杖（サイズ）など 洗たく物投入 袋購入（この薬局で）	・入院用品の不備は院内売店とこの薬局で調達した。
11:50	利用者の夫（■■OOさん）自宅へ送る	
12:15	シルバー号 返却（利用届提出）	
12:30	昼食（太田屋）とって解散 1:30pm	〈親族〉 娘・息子が数人？

〈反省と課題〉

(1) 今回のような通院ボランティアは、多少の専門性と責任性が必要であり、2人以上のチームを組まないといけない。

(2) 高齢者の「移送」（移動介助）にあたり、同意家族のあいさつや同意が必要かなと思った。利用者の主人様がしっかりしていたから、あえて心配しなかったけど。

(3) 手術になると思われる――（予定）が、当日は（ご主人プラス）親族の出番だと思う。（手術の同意書提出場面には立ち会わない）

(4) 今後、このような要請があった場合の「援助活動」のあり方について組織固め・方針確立が急務だと思う。

(5) 福祉タクシー利用のパンフ・料金が手に入ったが、基礎年金の生活では大変なようだ。

上小出地区
例会報告

上小出ささえあいネットワークの会
岡村昭義

この二月で結成満五年になります。本誌十八号に続き偶数月開催の例会報告をします。会員研修は町内の高齢者と緑寿会に呼びかけ、共に勉強します。

写真①

写真②

平成十三年度は、六月は高齢者の口腔衛生について、町内のほりぐち歯科医師さんの講話。八月は介護保険制度の利用の仕方を三森和也ケアマネージャーさんに伺いました。十月は、痴呆についての二回目講義を精神科医の吉野昭男先生にお願いしました。

十二月は救命講習会の三年目が終了し講習終了証を会員三一名がもらいました。

新年会や総会をへて、平成十四年度は六月に口腔衛生について前年に続きほりぐち歯科医師さんにお願いしました。八月は高齢者医療制度の改訂について群馬県保険医協会の事務局次長の栗原栄さんによる具体的な説明が聞けました。

十月は、町内の斉藤内科泌尿器科医院の斉藤浩樹先生に高齢者の排泄特に尿もれとその治療法などをくわしく教えてもらいました。（写真①と②）

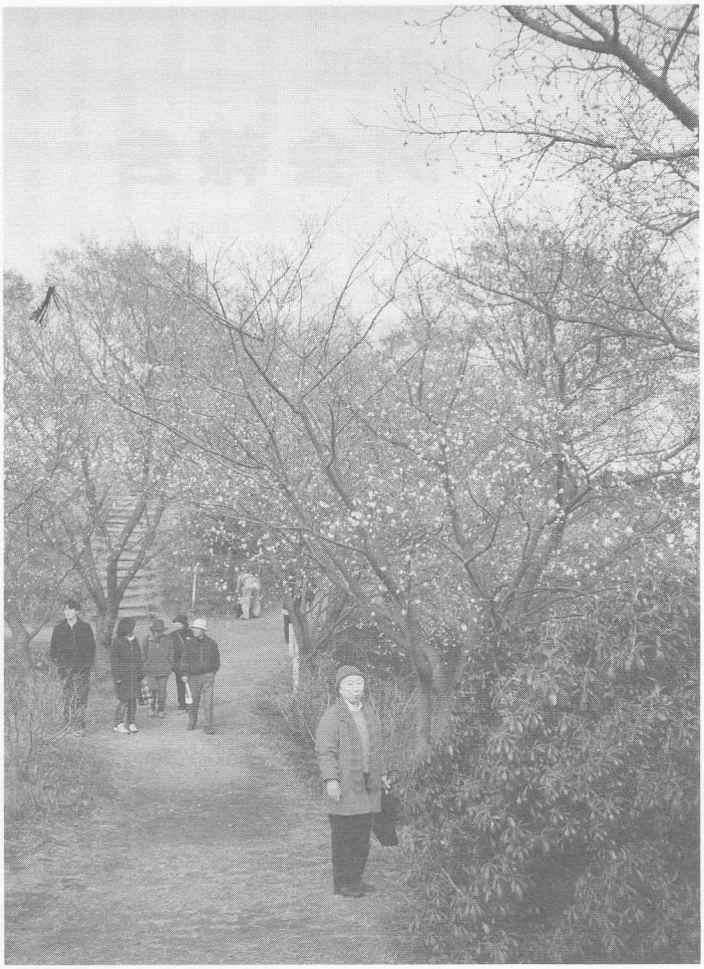
十二月は、高齢者の通院や外出支援について、会員の自由討論を深め、送迎ボランティアの有料化の金額を率直に出しあい、ほぼ方向づけができました。

独居や老夫婦のみの方の通院支援はすでに十一回の実績です。謝金の額が明示できれば利用者が増えると思います。（写真③）

写真③

回線問屋
NETWORK SOLUTION COMPANY
オフィスにおけるネットワークコンピューティングを強力にサポート！
システム・アルファは豊富な経験と実績をバックボーンに
Computer & Network でオフィスの明日を創造する企業です
システム・アルファ株式会社
本　社：前橋市大友町２－２３－５　TEL 027-253-1800
太田支社：太田市飯田町１０５３ OKビル　TEL 0276-45-5568

Yamato
都市と杜の新世界へ
鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。
「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。
これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。
私たちヤマトが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。
そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。
創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、
地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。
自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。
総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。
株式会社ヤマト
群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
URL http://www.yamato-se.co.jp
支　店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営 業 所／軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、熊谷、栃木市
付属施設／大和教育センター、大和環境技術研究所、大和分析センター
環境マネジメントの国際標準規格 ISO14001 認証取得
品質保証の国際標準規格 ISO 9001 認証取得



東部地区　例会報告

鬼石町に見学旅行

池田　俊子

十一月二七日、恒例の研修旅行が好天に恵まれて行われた。一行一八名、日頃デイケアや地域福祉にボランティアをし、二ヶ月に一度の定例研修会に参加しているおなじみの方達が集り、和気藹々として出発。

鬼石の桜山、城峯公園の冬桜を見物、春の桜と異り白も淡紅もはかなく小さな花がポツポツ長く咲いてハラハラと散る風情である。お弁当を食べて、鬼石のさびれた町並を通り抜けて永源寺へとむかった。

社会福祉法人御嶽養護老人ホーム、昭和三十年開設で定員五十名職員十九名。六帖と押入れの二人部屋。昭和六十一年開設の特老ホームは四十名職員数十一名各々若干のパートの人員がいる。四名同室のベットで三六平方米で比較的広い。施設長と若い女性の指導員のお話によると建物は古いが家族的に運営されて痴呆の方が五名いるが鍵はしめない方針、ボランティアにはホーム喫茶室のお世話とシーツ交換のときに時々手伝って貰っているとのことである。約四十七年前の建物は如何にも狭く、運営に心配りされているとは言え少し気の毒である。最近のデラックス傾向に比べてせめて個室化はできないものか、ここでも利用者満杯？ということに老人問題の立ち遅れを感じた。壁に一枚の絵もないのは心淋しいものである。

一昨年は上野村の村営施設、昨年は医師会運営の沢渡のリハビリセンターを見学し、今年はまた有意義なところを勉強させて貰いたいもの。

〃百聞は一見に如かず〃を痛感した一日であった。

謹賀新年

私たちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。
医療を通じ　すみやすい　まちづくり

早川医院
院長　早川　眞一
診療科目　内科・小児科
〒371-0801　前橋市文京町1－46－6
TEL 027－221－6324 FAX 027－243－1268

小島田診療所
院長　藤澤　慧
診療科目　内科・小児科
〒379-2162　前橋市小島田町7
TEL 027－261－0370 FAX 027－261－9560

本間小児科内科医院
院長　本間　剛
診療科目　小児科・内科
〒371-0801　前橋市文京町4－22－18
TEL 027－221－6807

松沢医院
院長　松澤　一夫
診療科目　内科・小児科
〒379-2108　前橋市鶴が谷町14－1
TEL 027－268－3826

丸山眼科医院
院長　丸山　明信
診療科目　眼科
〒371-0805　前橋市南町3－59－4
TEL 027－223－5941 FAX 027－223－5942

宮石内科医院
院長　宮石　和夫
診療科目　内科
〒371-0825　前橋市上細井町1955－1
TEL 027－234－1876 FAX 027－234－0674

村山医院
院長　村山　義和
診療科目　内科・小児科
〒371-0012　前橋市表町1－13－17
TEL 027－221－4643 FAX 027－221－4725

八木医院
院長　八木　茂
診療科目　内科・胃腸科
〒371-0835　前橋市前箱田町115－1
TEL 027－253－6588 FAX 027－253－5422

山下医院
院長　山下　由起子
診療科目　消化器科・外科
〒371-0016　前橋市城東町4－11－17
TEL 027－231－3726

湯浅歯科医院
院長　湯浅　高行
診療科目　歯科
〒371-0024　前橋市荒牧町504
TEL 027－232－4184

吉野医院
院長　吉野　昭男
診療科目　精神・神経科
〒371-0018　前橋市三俣町2－13－10
TEL 027－232－3333

地域の情報　リアルタイムで!!
モーニングインフォメーション
あさいち・朝生・情報通
月曜～金曜あさ6：55～
お昼のインフォメーション
ふれ愛ワイド
月曜～金曜
ひる0：00～
GTVニュース
ジャストナウ 545 600 930
●日曜ニュース＆スポーツ
夕方6：00～
おかげさまで30年
OTTO!
ぐんまTV

東地区　第29回例会報告

正しい薬の使い方

講演／石井直人先生（薬剤師）

要約／本間正三郎

於：東公民館

厚生労働省作成の「薬と上手な付き合い方」というタイトルのスライドと「高齢者とくすり」（日本薬剤師会）、「お薬のこと知っていますか」（群馬県）のパンフレットを参考に在宅ケアの現場を通して薬の知識と使い方とQOLを悪くしないためにアドバイスができればと思います。

まず医薬品の適正使用ということですが、これは的確な診断により薬が必要とされる場合、最適な薬剤を適切な用法で調剤し、説明のうえ正確に使用させることです。そして効果、副作用を確認し、結果によってはフィードバックし最適な処置をします。自分で用法・用量を変えることはできません。なお、厳しい審査をうけた「医薬品」とその成分構成に不明なものもある「健康食品」の使用には充分な注意が必要とされるでしょう。

「薬屋さん」より薬剤師の常駐する「基準薬局」のマークのある「薬局」などを利用したらと思います。

薬の剤形としては、内服薬、外用薬、注射薬、消毒薬そして最近ではテープのような貼付薬などもあります。内服薬では錠剤、カプセル、散薬などですが、一日かけて溶かして効果のでるものなどあります。

薬は体内で吸収されて血液中の薬の血中濃度が有効域にある場合に効果を現します。それ以外は効かないか、効きすぎるかです。薬の排泄は主に尿と便からですが、汗、涙、唾液もあります。介護面では汗と唾液が体臭の原因になっています。

高齢者は、薬の分解や排泄などの個人差から薬の量や服用間隔に注意しましょう。また、複数の病気での「重複服用による副作用」などあり医師、薬剤師の指示が必要とされます。それから慢性疾患の薬は維持療法薬でありますので途中で止めてはいけません。そして定期的検査が必要になります。

薬の服用時間は食後二時間（食間）が望ましいのですが、忘れやすいこともあり、毎食後三十分が一般的です。これは薬を一日三回に分けて飲むという意味でもあります。

狭心症に使うニトロール錠は、常時携帯していて、舌下で使用することが必要とされています。保管は湿気・高温をさけ、子供の手の届かぬ所にして下さい。

薬を一日三回飲むときは、それぞれの間隔は四時間以上が必要で、忘れた場合二回になることもありえます。

薬を時間毎に分包するのは、忘れることや間違いを防ぐためです。薬はコップ一杯の充分な量の水かぬるま湯で胃まで流し込まなければなりません。また、牛乳やジュースで飲まないで下さい。薬をつぶして飲んだり、アルミニューム包装紙の誤飲にも気を付けてください。

点眼薬は容器が直接目に触れないようにし、点滴後は一分間目を閉じています。二種類のときは五分間をあけます。不透明袋に入ったものは外に放置しないでください。

薬の保管上注意することは、直接日光や高温多湿をさけること、容器を詰め替えないこと、食品と一緒に保管しないこと、幼児の手の届かぬような配慮などがあります。そして、飲み残しや使用期限の切れたものは処分しましょう。

副作用については、膀胱炎、神経痛と風邪などの鎮痛剤を重複して服用すると胃を荒します。胃潰瘍で処方される精神安定剤や抗コリン剤と風邪薬を併用したときはねむけや意欲低下をまねきます。薬は形状は違っていても成分は同じ場合もあり注意を要します。抗菌剤と痛み止めが痙攣をまねく。抗生物質や制酸剤を牛乳で飲むと効果減少する。カルシ

講師紹介

東北薬科大を卒業後、エーザイ勤務を経て現在南町でコトブキ薬局を経営している。
また学校薬剤師として、環境・衛生問題にも取り組んでおり、夫人と共にケア・マネージャーの資格者でもある。

ユウム拮抗剤とグレープフルーツジュースは効果増大を招きます。

このように薬と薬、薬と食べ物の相互作用にも注意が必要です。薬単体でも気管支拡張剤が震戦や動悸を、ACE阻害剤（血圧降下剤）が空咳をまねくことなどです。糖尿病薬で低血糖をおこすときはブドウ糖を用意することもあります。

在宅医療では日常生活で薬が体調に悪影響を与えていないか留意しなければなりません。医薬分業の面から言うと「お薬手帳」など使い「薬歴管理」をしっかりしてほしいと思います。

古市いこいの家　近況だより

米寿の祝い

東地区　金子　勇

九月十五日敬老の日です。いこいの家を利用している高齢者で石川行男さんと立木得さんのお二人が平成十四年度内に八十八才の米寿を迎える大変おめでたい年です。

お二人共地域社会や各々の御家庭でお祝いされていることですが、当いこいの家利用者とボランティアが一体となり、楽しいひとときを過ごすべく、石川さんが赤い帽子を被り赤いチャンチャンコを着て、ボランティア会員から花束の贈呈をして頂きお祝いをしました。

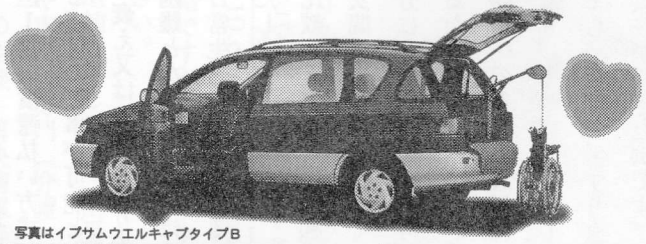
また定例時の茶菓子のほか、祝の赤飯折りと、差し入れの梨などを召し上がりながらお二人が大正、昭和、平成を生き抜き米寿に至った苦難の経験談と、今行っている健康法について伺いました。

此処にお二人の健康法について二～三ご紹介させていただきます。

石川さんは『腹立てず、迷惑かけず、愚痴いわず、笑顔で暮らせ春夏秋冬』の座右の銘のもと、足踏み百回、アカンベー（舌を思い切り前へ出し声を出してアカンベーと言う、人前ではできないとのことです）を二十回程毎日行う。他に習字、輪投げ、等何でも前向きに取り組んでおります。

立木さんは、血行を良くするために、起床前に寝床の上で手足を伸ばし、足首を前後に屈伸する運動を二十回程行い、横に、コロットなってから起き上がる様にしている。また、午後、人通りの少ない道で三十分程度の散歩が日課で町内の知人とのおしゃべりで健康維持をしているとのことでした。

以上、米寿の素晴しさを聞き御両人にあやかりたく、心新たにしたひとときでした。

幸せを広げる群馬トヨペットの福祉車両
乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、
豊富な車種とバリエーションをご用意しております。

写真はイプサムウエルキャブタイプB
お客様相談 フリーダイヤル 0120-29-5123
http://www.toyota.co.jp/p-gunma/
群馬トヨペット
本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL.027-251-5111(代)

New Face 登場！ No. 1

介護保険事業所番号1070400633

グループホーム さがん

伊勢崎市富塚町1159-3
TEL 0270-31-3588

平成十四年九月、伊勢崎市富塚町に開設しました「グループホームさがん」です。

周囲は静かな住宅街で、近くには高齢者が毎朝ゲートボールを楽しむ公園やスーパーマーケット等があり、伊勢崎や本庄の市街地まで車で一〇分以内という便利なロケーションに恵まれております。

ホームには百二十七坪の敷地にダークブラウンのシンプルな平屋建て。敷地の一部は家庭菜園になっており、入居者とスタッフが、季節の野菜や果物を育てる事ができます。

ホーム内には、廊下をはさんで九つの個室が配置され、各室の広さは約六畳で、冷暖房とブランド、クローゼット以外は何一つ置かれていません。多くの施設は介護用ベットなどが備え付けてありますが、「さがん」では入居者が愛用の布団やベットを持ち込んでいただきます。また、普段使っている家具なども持ち込むことができ、入居者のそれまでの生活空間をそっくりそのまま運んできていただいております。約二メートルという幅広い廊下は、二台の車椅子が楽にすれ違うことができ、トイレや洗面所もゆったりとした宏さでバリアフリーの心配りも忘れていません。入居者が集う共同スペースは、十八畳のリビングにはちゃぶ台があり、ここで時には鍋を囲んだりして、家庭的な時間の共有を大切にしております。

料金システムにも他の施設に比べ、大きな特徴があり、入居者やその家族の負担ができるだけかるくなるように、入居一時金は一切不要。家賃、食材料費、水道光熱費、介護報酬一割負担など、一ヶ月にかかる費用は九万五千円前後に抑えてあります。

「グループホームさがん」は、一人ひとりの入居者がスタッフとともに協力し、安心で楽しい生活が送れるよう支援致します。

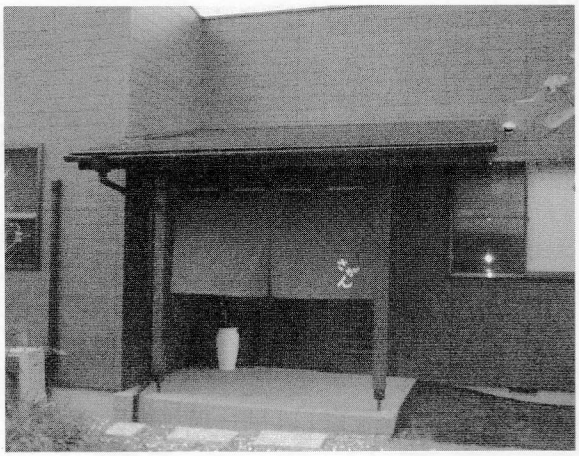
ホームの見学、入居のご相談は随時受付中。

【入居対象者】介護保険の要介護認定で「要介護一」以上と認定され、痴呆の状態にある方

【定員】九名

【設備概要】冷暖房設備、テレビ共聴設備、収納スペース、トイレ、食堂、和室スペース。浴室、洗濯室、家庭菜園。

（川崎　理）

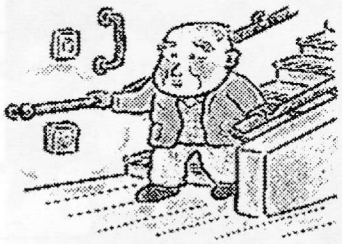


宅地建物取引・損害保険取扱・介護保険事業
株式会社 サガン
群馬県富岡市七日市一五四六
電話〇二七四ー六四ー一六五〇

介護保険を利用した住宅改修の例（その一）

ケアスマイル　塩沢道夫

要介護及び要支援の認定を受けている方は、介護保険制度で、小規模な住宅改修を行うサービスが受けることができます。内容は20万円（税込）を限度として自己負担1割（償還払い方式）にて対象となる項目の工事が可能となるので、足腰の衰え又は障害により歩行、立ち座りが困難となっている方は改修工事により日常生活の改善を計ることをお勧めいたします。



Aさんは比較的元気な女性の独居の方ですが、玄関ドアから道路までのアプローチ部分に3段の階段があり転倒の危険があるため外出をためらいがちでしたが、通路への手すり設置により生活改善を計り、そのほかトイレ、玄関上がりかまち、廊下の手すり全て介護保険内で改修ができた例です。

New Face 登場！ No. 2

有限会社 シンク

（有）シンクの神久　透です。

私は若宮町で、家電販売を柱に住宅設備機器販売施工ならびに、高齢者、障害者のための福祉住環境整備を基本に住宅のリホーム、新築設計施工を行っております。

すでに周智の通り日本は少子高齢化社会を向かえておりますが、その高齢化のスピードが諸外国に比べ大変早く行政の政策の対応が追いつかず、さまざまな問題に、きめこまかな対応ができないのが現状だと思います。

そんな中で、この「在宅介護ネットワークの会」の活動はこれからの高齢者、障害者が安心して暮らせる、福祉のまち作りを考える大変重要な役割を担う組織ではないでしょうか。私もこの主旨に賛同し今回、活動に参加することにしました。

誰もが住みやすい街づくり、高齢者も障害者も健常者と同じ地域社会の一員として、平等で安全な社会参加が保障される社会を目指すためには地域住民が中心となり福祉の街作りを実現していかなければなりません。

当社の活動する若宮地区も高齢化が進み商店街も閉まっている店が多く見られます。

また、まちの歩道等の整備（バリアフリー化）も遅れており、出かけたいけど家から出るのが大変、交通手段が利用しづらい、近くに気軽に行ける場所がないなど、ますます孤立してしまっています。

高齢者に限らずですが、相談者の生活の目標を考え、家族、地域住民、専門職等が連携して自立した生活を支援していけるよう生活を総合的に捉え住環境整備をしていきたいと考えております。

早くからの住環境整備を行うことにより案全性、利便性が向上し快適な生活ができ、事故を未然に防ぎ、身体的、精神的負担を大きく軽減することができます。また、医療費、介護費用を大きく軽減し生涯出費も減らす効果が考えられます。

これは、高騰する医療費や保険料を押さえることにもなり次世代の負担をへらすことにもつながります。

私たちは、早くからの活動的な生活、社会参加を長く続けるための、積極的に自立生活を求めるメニューで住環境を提案し、いつまでも自立した生活を安全快適に送れるよう支援していきたいと思います。

より良い工事をするには住宅改修に対する知識適切なアドバイスができ、迅速な施工が可能なサービス事業者とのネットワークを持つケアマネージャーを選択することがポイントと思われます。

（つづく）

■Active　Life　Supporter■

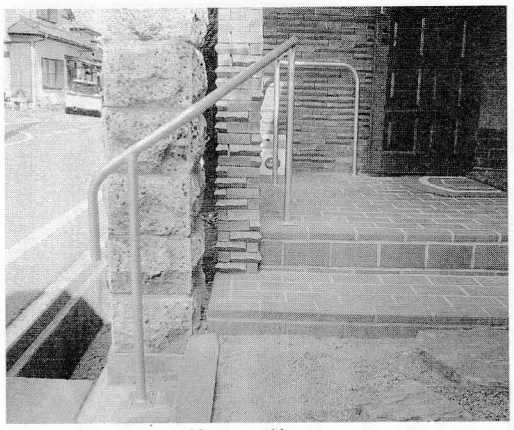
有限会社シンク　電話027-232-1370

前橋市若宮町2-10-1　Fax027-232-1667

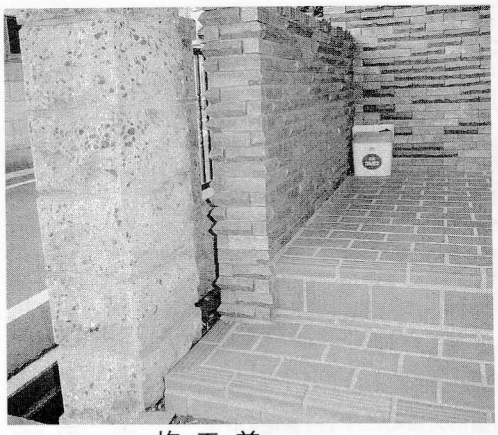
E-mail s-shinku@dab.hi-ho.ne.jp

家電・リフォーム・介護

いつまでも自立した生活を、安全、快適に



施工後



施工前

事務局から お知らせ

飯嶌

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申上げます。

「今年こそ」の精神をもって頑張りたいと思いますので昨年に倍してご指導ご協力をお願い申上げます。

＊

第一回ホームヘルパー養成講習会の修了生の会「みどりの会」が誕生しました。

ご要望に応えて第二回の講習会を今年三月に開催する運びとなりました。皆様の受講をお待ちしております。お知合いにぜひご案内下さい。

文化教室のお知らせ

■絵画教室

・開講日　毎月第一、第三水曜日
・時　間　午後一時半～三時
・場　所　ケアハウス悠々くらぶ
・講　師　番　和子先生
・受講料　一回五百円

どなたでも受講できます。ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。

＊

■生命(いのち)の貯蓄体操

東洋の養生術、生命の貯蓄体操をご紹介したいと思っています。私も十年前からやっていて市内で百人以上の友ができました。大変好評です。

市民のみなさまへ　「困ったときの頼りです」

介護相談窓口(出張)開いています

○介護保険制度について
○介護用品・福祉用具・住宅の改修について
○前橋市・富士見村・大胡町の福祉制度の紹介
○介護・福祉に関する事　等

■場　所　ベイシア前橋モール店
介護用品特設コーナー

■日　時　毎週金曜日　13:00～16:00
(ご来所大変な場合は直接伺えます)

■連絡先　前橋・在宅ケアネットワークの会
事務局
TEL・FAX　027-235-6283

■利用料金　無料

相談員メンバー紹介

塩沢　由子（介護福祉士・ケアマネージャー）
猿山　政代（看護士・ケアマネージャー）
石田あずさ（介護福祉士・ケアマネージャー）
山崎　文子（看護士・ケアマネージャー）
須田　和也（社会福祉主事・ケアマネージャー）
三森　和也（社会福祉主事・ケアマネージャー）

編集後記

お正月は平穏に迎えましたが、昨年の北朝鮮問題、イラク問題、世界的経済不安等の余波を受けて、今年は激動の年になるのではないでしょうか。

会の事務所は新築の前橋福祉会館内に移転し、快適空間の中で新体制を整えました。そして介護支援事業等順調に伸展していますし、本文にあるように各地区の動きも活発になっています。本号は初めて十二頁版になりました。さらに内容を充実させ、今年は一段と活動の場を広げ、会にとっても激動の年にしたいものです。(沿)

おまかせ下さい防犯・防災
機械警備　施設警備
ホームセキュリティー　警備輸送
SOK
群馬綜合ガードシステム(株)
代表取締役　川崎　弘
☎027-252-5454(代)　FAX 027-251-8388
本社　〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5